

## 遠藤薫名誉教授記念号の刊行によせて

学長 山 本 眞樹夫

遠藤薫名誉教授記念号の刊行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

遠藤先生は昭和50年（1975年）、北大経済学部助手より本学講師として着任されました。昭和54年（1979年）に助教授、昭和62年（1987年）には教授に昇任され、平成21年（2009年）3月に定年により御退職されるまで、実に34年の長きにわたって、本学の発展に御尽力を頂きました。

平成12年度及び平成16年度の2期にわたり経済学科長を勤められ、平成18年度からは教育研究評議会及び経営協議会委員という、国立大学法人にとって最も重要な職務に就かれました。平成16年度から始まる国立大学の法人化という、わが国の高等教育制度の大転換期に学科運営及び大学運営の中核におられ、法人化後の小樽商科大学の基礎をつくるという重責を果たして頂きました。

遠藤先生のご専門は計量経済学で、地域経済の計量モデル、貯蓄の計量経済分析そして価格サーチの分野で研究を進められてきました。特に価格サーチの分野ではベイズ統計学に基づく理論モデルを構築され、メーカー希望小売価格の情報は消費者の価格サーチ行動にとって意味があることを計量分析的に明らかにされるという重要な業績を残され、今日普通に見られるネット上の価格情報を参考にした消費者の新しい行動にも応用できる可能性豊かな御研究であると聞いております。

教育面では、主として「計量経済学」と「統計学」を担当して頂きました。熱心な教育者であり、『やさしい統計学の本』（長尾昭哉、遠藤薫共著、同文館、1997年）及び『Excelで学ぶ計量経済学』（同共著、エコノミスト社、2002年）などの教科書も著されています。

私自身は、遠藤先生について温厚で誠実という印象を強く持っています。そのお人柄から、同僚教員の信頼も厚く何かと頼りにされていました。残念ながら、定年により本学を去ることになりましたが、今後とも名誉教授として、ご健康に留意され本学の一層の発展のためにご指導、ご協力を頂けるようお願い致します。